資料3

# 「青少年インターネット環境の整備等に関する検討会」の当面の進め方等について（案）

## １．検討の方向性について

① 第６次基本計画のフォローアップを継続的に行う
② 第６次基本計画の進捗状況を踏まえた論点整理を行う
③ 更に効果的な対策に向けた議論を行う

## ２．検討の視点について（実態調査から見える特徴）

① 利用時間の長時間化：インターネットの平均利用時間が青少年（満10歳～満17歳）で約５時間２分。特に高校生の３割以上が７時間以上利用。
② 低年齢層の利用率：満0歳から満9歳の低年齢層のインターネット利用率が78.5%（前年度比＋3.6ポイント）で前年度より微増。小学生（6歳～9歳）の利用率は91.4%。
１歳が42.9%、３歳が72.6%、４歳が77.1%で過去最高。
③ 青少年の利用を前提とした取組：フィルタリング利用率は45.8%（前年度比+1.6ポイント）で前年度と同水準。OSの機能によりコンテンツ制限をしている保護者が17.0%、機器の設定により時間管理をしている保護者が18.9%。

## ３．検討会の進め方（予定）

【第64回（令和７年５月）】第６次基本計画のフォローアップ、令和６年度実態調査結果報告
【第65回（令和７年夏頃）】WGのとりまとめ結果等
【第66回（令和７年12月）】高校生ICT Conference最終報告会等
（令和８年度前半）　論点整理、関係者ヒアリング等
（令和８年度後半以降）　検討会報告書（骨子案）の提示、検討会報告書（案）の提示、検討会報告書の決定
（令和９年夏頃）　第７次基本計画の決定